



(写真) Diario La Verdad “カルロス・デルピノ CNE 役員 アモロソ代表の選挙規則違反を告発”

## 2024年6月12日(水曜)

### 政治

- 「[CNE 役員 アモロソ代表の規則違反を告発](#)  
～役員の前投票無く、独断で重要事項を決定～」
- 「[告発を受けたアモロソ代表のコメント](#)」

### 経済

- 「[PDV H 競売 応札者は現金の用意が必要](#)」
- 「[ベネズエラ WTO の貿易円滑化協定に加盟](#)」
- 「[マドゥロ大統領 1～3月の GDP 成長率7%](#)」
- 「[コーヒー団体 国会議論中のコーヒー法に反対](#)」

### 社会

- 「[Sambil カンデラリアに映画館 チケット代は?](#)」

## 2024年6月13日(木曜)

### 政治

- 「[統一プラットフォーム デルピノ役員と協議](#)」
- 「[ゴンサレス候補 米国の経済制裁は個人制裁](#)」
- 「[PSUV 副党首 米国は選挙後の計画を検討中](#)」

### 経済

- 「[ルノー ベネズエラで自動車販売を再開](#)」
- 「[ベネズエラ 一人当たりの債務は6800ドル](#)」
- 「[Cedice 5月のインフレ率は2.25%増](#)」

### 社会

- 「[トレンデアラグアに誘拐された126名救出](#)」
- 「[口笛世界大会優勝の日本人は、ベネ音楽奏者](#)」

2024年6月12日（水曜）

## 政治

**「CNE 役員 アモロソ代表の規則違反を告発  
～役員の前投票無く、独断で重要事項を決定～」**

6月12日 「選挙管理委員会（CNE）」のカルロス・デルピノ役員は現地メディア「Caraota Digital」のインタビューに応じ、CNE のアモロソ代表の選挙規則違反を告発した。

デルピノ役員は2023年8月に任命を受けた野党系役員で、野党「行動民主党（AD）」の元役員。

過去、同じく野党代表として CNE 役員を務めたピセンテ・ディアス氏の元で CNE 役員代行として活動したこともある。

なお、デルピノ役員の父親は「ベネズエラ労働者連合（CTV）」の代表ファン・ホセ・デルピノ氏というベネズエラでは名前の通った人物である。

デルピノ役員によると、アモロソ代表は本来であれば CNE 役員の投票によって決定しなければならない重要事項について、役員の前投票を行わず、独断で決定しているという。

デルピノ役員によると、アモロソ代表が最後に役員会の召集を行ったのは2024年3月26日。

当時の議題は

「野党統一連合（MUD）と新時代党（UNT）を政党として認識し、両政党から大統領選の候補者擁立を認めるかどうか」。

その後、役員会の召集は行われていないという。

なお、これまでもアモロソ代表は適切に役員に対してスケジュールの通知を行っておらず、過去には役員会や記者会見の実施時間の20分前に召集を受けることがあり、更にどのような内容について発表・議論するかの事前の通知がなかったという。

デルピノ役員が特に問題視しているのは、役員会の召集・投票を行うことなく、EU 選挙監視団への招待を撤回したこと（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1069」](#)）。

CNE の役員は5名で全ての決定は多数決で決まる。現在の役員構成は3名が与党系で、2名が野党系。

デルピノ役員は「実際のところ多数決を行えば与党側の意志が反映される」という事実は認識している一方で、「私は CNE 役員として、自身が議題に対して賛成・反対・棄権するか意思を表明する権利と義務がある」と説明。「仮に決定が変わらないとしても役員会を実施しないことは選挙法の規則違反である」と指摘している。

なお、デルピノ役員によると、CNE 副代表であるカルロス・キンテロ氏（与党系役員）もアモロソ代表の行動には懸念を抱いていると補足。



（写真）Maduradas

“左の男性がカルロス・デルピノ役員、右の男性がエルビス・アモロソ CNE 代表”

「キンテロ副代表は、ティビサイ・ルセナ元 CNE 代表と長い期間 CNE 役員を担ってきた経験のある人物で、自身の政治的な思想とは別に CNE として技術的な意志決定プロセスと規則を守る必要性を認識している」との見解を示した。

### 「告発を受けたアモロソ代表のコメント」

デルピノ役員の告発について、記者から質問を受けたアモロソ代表は

「知らない。あなた方がこの問題に回答をしなければいけない。あなた方は記者だ」「あなた方は選挙当局の仕事の証人である。我々は常に CNE の活動を公開してきた。真実を発表し、嘘と直面してきた」

「7月28日は制裁と経済妨害と悪意の上で選挙が行われる」「国民は真実の意志を表明することになるだろう」とコメントした。

なお、告発翌日の6月13日 アモロソ代表は、記者会見を予定していたが、この記者会見は当日に中止されている。

選挙専門家エウヘニオ・マルティネス氏によると、アモロソ代表は今回の告発に対する会見を行う予定だったという。

## 経 済

### 「PDV H 競売 応札者は現金の用意が必要」

CITGO の持ち株会社「PDV Holdings」の2回目の応札期限だった6月11日が過ぎた。

現在は落札者の検討プロセスに入っており、特に問題が起きなければ、落札者は7月15日に決まる予定となっている。

「ロイター通信」によると、今回の落札者の選定を行うのは、デラウエア州裁判所と「Evercore Group」という投資銀行。

既に応札したことを明らかにしているのは「Gold Reserve」。同社は「FJ Management」と協力し、応札を行ったという。

「Gold Reserve」は、ベネズエラ政府から金鉱山を接収され約11.4億ドルの賠償金を勝ち取っている。今回の競売を通じて賠償金を回収する権利を持っている会社である。

「FJ Management」は、ユタ州に本社を置く会社で、コンビニエンスストア、石油・精製、銀行、保険事業などを運営する非公開企業である。

また、今回の応札において金融機関から融資を得ることで応札に参加する企業が多いようだ。

本件について、デラウエア州裁判所と「Evercore Group」は「全額融資で応札することはできず、一部の資金は現金を用意すること」との応札条件を付けているという。

なお、ベネズエラ野党・PDVSA 並行役員らは CITGO のコントロール権を維持するためにあらゆる可能性を検討しており、直近では、裁判所に対して「仮に最高応札希望額が100億ドルを下回った場合は、3回目の応札を行ってほしい」と要請しているようだ。

### 「ベネズエラ WTO の貿易円滑化協定に加盟」

6月12日 デルシー・ロドリゲス副大統領は、ベネズエラが「世界貿易機関 (WTO)」の貿易円滑化協定への加盟を承認されたと発表した。

WTOは、スイスのジュネーブに事務局を置く、自由貿易促進を主たる目的として創設された国際機関。

「貿易円滑化協定」とは、貿易取引の時間とコストを削減し、貿易・投資の拡大を通じた経済成長・発展を促すことを目的とした協定。

2017年2月に発効した比較的新しい協定だが、2023年11月時点で156カ国が加盟している。

「貿易円滑化協定」に加わった国は、  
「インターネット上での貿易手続きの公表」  
「貨物輸入前に品目分類等を公開する制度の導入」  
などを義務付けられる。

他、税関手続きの迅速化・簡素化のため  
「貨物到着前の申告・審査やリスクに応じた審査の導入」  
「貿易関連手続きの窓口の一元化」  
などに着手する必要がある。

ロドリゲス副大統領は  
「米国や米国の属国がベネズエラの貿易円滑化協定加盟を妨害したが、我々は加盟することができた」  
「今回の協定加盟により貿易手続きのコストを14%減らすことが出来る」  
と説明している。

### 「マドゥロ大統領 1～3月のGDP成長率7%」

6月12日 マドゥロ大統領は、  
「24年1～3月のGDP成長率が前年同期比7%増」  
「24年1～5月の非石油部門の輸出は前年比42.9%増だった」と説明。

ベネズエラ経済が過去13年で最も安定していると主張した。

なお、マドゥロ大統領は経済を回復させるために以下の6つに注力したと述べている。

1. 歳出の使用方法を変更した  
輸入品ではなく、国内品の購入を増やした。なお、大企業を優遇するだけでなく、中小企業の生産を促進するような形で政府調達を行った。
2. 国営銀行・民間銀行の融資を拡大させた  
中小企業も含めて生産を行う企業向け融資を拡大させた。
3. 非石油部門の輸出を促進した
4. 戦略物資の生産拡大を促進した  
食料品・畜産品など国家安全保障の観点から必要な物資の生産を推進する政策を進めた。
5. 賃金改善  
経済成長と生活の質向上に必要な国民の購買力を引き上げた。
6. 公共サービスの改良・安定に努めた  
燃料供給など公共サービス・インフラの改良に努めた。

### 「コーヒー団体 国会議論中のコーヒー法に反対」

前述の通り、マドゥロ政権は、非石油部門の輸出促進を進めており、その中でもコーヒーは重要な位置を占めている。

与党国会は、コーヒーの生産拡大と輸出促進を目的に「コーヒー法」の議論を進めており、現在は国会の第1セッションを通過している。第2セッションを通過すれば、大統領が署名し、官報に公布される。

「ポルトゥゲサ州コーヒー生産者団体」の Félix Saavedra 氏は、「コーヒー法」について「生産者の意志を代表したものではなく、同意できない」と言及。

加えて「法律は実質的に16条で構成されており、定められている内容が極めて少ない」「ベネズエラ国内には19万人超のコーヒー生産者がいる」「この重要な品目に対して十分な検討がなされていない」

「コーヒー農家に政治的な色はない。コーヒー産業を政治の色に染めないでほしい」

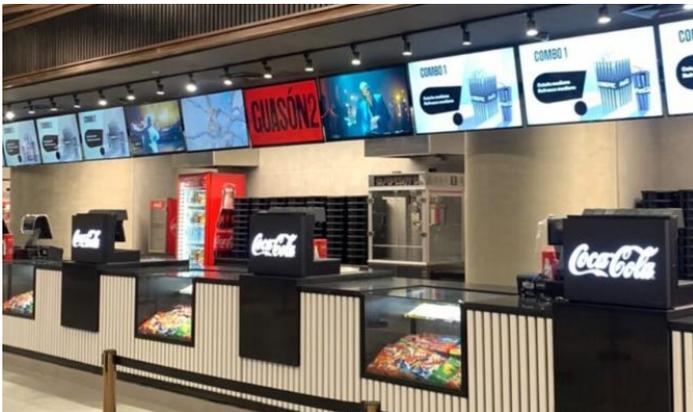
「生産者にとって公平で尊厳ある規則になるよう適切な議論を行いたい」  
との見解を示した。

## 社 会

### 「Sambil カンデラリアに映画館 チケット代は？」

6月8日 カラカスの La Candelaria に再オープンした大型ショッピングモール「Sambil カンデアラリア」に映画館が出来た。

この映画館を運営するのは「Cinopic」。  
映画館では、最新鋭の設備で映画を楽しむことが出来るという。



(写真) El Estimulo

チケット代は映画館のシアタールームによって異なる。

「Sala Dolby」は  
月曜は2.5ドル/人、火曜～日曜は5ドル/人

「Sala Dolby Atmos」は  
月曜は3.5ドル/人、火曜～日曜は7ドル/人

他、ポップコーンなど軽食も購入できる。  
例えば、ポップコーン (M) とジュース (M) のセット  
価格は5ドルという。

## 2024年6月13日（木曜）

### 政 治

#### 「統一プラットフォーム デルピノ役員と協議」

本稿「CNE 役員 アモロソ代表の規則違反を告発」で紹介した通り、「選挙管理委員会 (CNE)」のカルロス・デルピノ役員がエルビス・アモロソ代表による選挙規則違反を告発した。

この告発を受けて、野党「統一プラットフォーム」は、デルピノ役員と協議を行うようだ。

以下は筆者の個人的な見解だが、大統領選開催まで約1カ月半に迫り、ベネズエラの選挙環境は悪い方向に進んでいる印象を受ける。

前述の通り、CNE は EU 選挙監視団への招待を撤回。

マドゥロ大統領は「選挙結果を受け入れる趣旨の合意書に署名する」と発表。ゴンサレス候補を含む全ての候補が合意書に署名しなければいけない雰囲気だが、ゴンサレス候補はこの合意書への署名を拒否している（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1075」](#)）。

また、全国の刑務所で一斉デモが起きており、大統領選を前に政治的に仕組まれた可能性が疑われる（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1075](#)」）。

大統領選に出馬している「鉛筆同盟 (AL)」のアントニオ・エカリ候補は、「合意書に署名する条件として、EU 選挙監視団を大統領選に招待し直してほしい」と提案している。

この提案が受け入れられ、与野党間で一定の合意が得られれば状況は改善するだろうが、このまま両者が妥協点を見いだせない場合は、悪い方向に進むのではないかと危惧している。

#### 「ゴンサレス候補 米国の経済制裁は個人制裁」

「野党統一連合 (MUD)」の推薦候補として出馬したエドモンド・ゴンサレス候補は BBC のインタビュー番組に対応。

記者から米国の経済制裁について質問を受け、自身の見解を示した。

なお、経済制裁についてゴンサレス候補が明確に回答するのは筆者が知る限り、今回が初めてである。

ゴンサレス候補は

「制裁には合理的な理由があり、政府と政府の特定の個人が行った行動に由来している」

「制裁は国に対して科しているものではなく、政府の特定個人に対して科しているものである」

と回答。

また、「7月28日に CNE が当選者を発表した後に制裁について分析を行う」と補足した。

更に記者から「マドゥロ政権に新たな制裁を科すことを求める可能性があるか？」と聞かれると

「我々は選挙に勝利することに注力しており、選挙に勝利することが我々の関心事である」「7月28日まではこのテーマについて100%注力する」と回答し、質問への回答を避けた。

#### 「PSUV 副党首 米国は選挙後の計画を検討中」

与党「ベネズエラ社会主義統一党 (PSUV)」のディオスダート・カベジョ副党首は、「バイデン政権は、マドゥロ大統領が再選することが確定していると理解している」と指摘。

「現在、バイデン政権はマドゥロ大統領の再選を前提として、2つのプランを検討している」との見解を示した。

「ホワイトハウスにいる私の友人からバイデン政権の動きに関する情報を受けた」

「バイデン政権はマドゥロ大統領が7月28日に再選することは避けられないと考えている」

「彼らの国家安全保障省は、野党が勝利するシナリオについて一切検討していない」

「バイデン政権は7月29日以降の対ベネズエラ方針について検討をしており、2つのプランがある」

「1つ目は、ベネズエラと米国の2国間関係を尊重すること。マドゥロ大統領をベネズエラの大統領と認識するが、制裁を維持し、OFAC のライセンスにより特定の企業のみベネズエラの石油・ガス産業での活動を認めるプランである」

「2つ目は、“ベネズエラ国内で抗議行動を起こせばマドゥロ政権は3カ月も持たない”というマリア・コリナ・マチャドのプランを支持し、再び社会秩序を乱すことだ」との見解を示した。

## 経済

## 「ルノー ベネズエラで自動車販売を再開」

「Bloomberg」は、フランスの自動車メーカー「ルノー」が、24年5月からベネズエラでの自動車販売を再開したと報じた。

「Bloomberg」によると、ルノーは「Latamcar」というスペイン人が筆頭株主になっている輸入会社を通じて自動車販売を行っているという。

2023年には販売再開に向けてルノー関係者がベネズエラを訪問していたという。

そして、この訪問から6カ月も経たない間にコロンビアにある「Renault-Sofasa」の自動車工場からベネズエラに自動車を輸出するスキームを作ったようだ。

「Bloomberg」が、「Renault-Sofasa」の Ariel Montenegro ゼネラル・マネージャー（アルゼンチン人）に行ったインタビューによると、ルノーの2024年の販売台数目標は400台。

現在はベネズエラ国内に8カ所の販売代理店があるという。また、新車販売だけでなく、アフターサービスも行うようだ。

なお、将来的にベネズエラ国内で組み立て工場を稼働する可能性は否定しないものの、現時点では輸入車の販売に注力するとの方針を示している。

## 「ベネズエラ 一人当たりの債務は6800ドル」

ベネズエラ人経済学者ダニエル・カデナス氏は、ベネズエラの対外債務について言及。

現在のベネズエラの対外債務は約1800億ドルで、国民1人当たり6800ドルとした。

なお、「対外債務を支払わないことは、新たに外国から融資を得ることが出来ないことを意味する」と指摘。

国の財政運営にとって融資は必要不可欠であり、インフラ整備など長期的かつ大規模な事業には外国からの融資が不可欠との見解を示した。

また、現在の債務問題について「この迷宮から脱出することは容易ではないが、不可能ではない」「考え方を大きく変え、政府改革を断行する必要がある、国民がその必要性を理解する必要がある」とした。

## 「Cedice 5月のインフレ率は2.25%増」

非政府系団体「Cedice Libertad」は、2024年5月のインフレ率について、ポリバル建てで先月比2.25%増、ドル建てで同2%増とした。

「Cedice」は3人家族が食事・生活品・サービスなど61品目を購入し、一カ月生活するための基礎生活費を調査し、公表している。

同調査によると、24年5月の基礎生活費は、月額2万712、72ポリバル。ドル建てで567.27ドルとした。

5月に最も物価上昇が激しかったのは「交通費」で、先月比8.34%増（ドル建てで同8.11%増）。次いで「食料品」がポリバル建てで同4.03%増（ドル建てで同3.78%増）だった。

なお、2023年6月～24年5月までの12か月分のインフレ率は14.27%だったという。

## 社 会

### 「トレンデアラグアに誘拐された126名救出」

6月11日 コロンビア警察は、ベネズエラ系マフィア「トレンデアラグア」の構成員7名を逮捕。同グループに誘拐されていた126名を救出したと発表した。

同オペレーションは、アンティオキア市で実行されたもの。

公式発表では「誘拐された126名を救出した」と書かれていたので、この言葉を使用したが、恐らく126名は誘拐されたのではなく、自発的にトレンデアラグアを頼ったと思われる。

逮捕された7名は「コヨーテたち (Los Coyotes)」と呼ばれ、米国への不法入国を斡旋しており、偽の身分証明書や他国に入国するための偽資料などを発行していたという。

彼らは1000～5000ドルの支払いの見返りに違法入国を支援していたようだ。



(写真) コロンビア警察

### 「口笛世界大会優勝の日本人は、ベネ音楽奏者」

24年5月30日～6月2日にかけて、神奈川県(川崎市)にて「口笛世界大会(WWC)」が開催された。

同大会の優勝者は、武田 裕熙(たけだ ゆうき)氏。

武田氏は、ベネズエラ音楽の奏者でもあり、大会ではベネズエラの伝統楽器クアトロでベネズエラの伝統音楽「コーヒールンバ(Moliendo Cafe)」を演奏しながら、口笛を吹いた(実際の大会動画はYouTube「[Moliendo Café | WWC 2024](#)」にて視聴可能)。



(写真) Moliendo Café | World Whistlers Convention 2024

以上